

2024年度第2回日本学連臨時総会議事録

【日程】2025年3月28日(金) 21:00 ~ 22:45

【開催場所】zoomを用いたオンライン開催

【議事録作成者】西澤汰知(東北大学)、久保田結理(東北大学)、早川正真(立命館大学)

【目次】

1.総会の議長について.....	2
2.来年度の幹事について.....	2
3.来年度の副会長について.....	2
4.インカレ実施規則の改正について.....	2
5.2025年度秋インカレ競技者配分のランキング対象大会について.....	3
6.インカレ競技者数配分規則の一部改正について.....	3
7.連盟規約の一部改正、廃止について.....	3
8.来年度の事業者との契約について.....	4
9.会計決算・予算について.....	4
10.大会・練習会申請について.....	4
11.大会・練習会を開催する際の渉外手順について.....	5
12.グーグルフォームによるテレイン利用申請について.....	5

1.総会の議長について(遠藤)

概要

総会の議長は、本来は幹事長が務めるのではなく、各大学の渉外の中から立候補するのが規則上正しい。コロナ流行以降は幹事長が議長として総会を進行している。

これは規則に則っていないため、以下の案の中から解決策をとりたい。

- ①現行の規則に従い、各校渉外から議長を選出
- ②規則に渉外から議長が選出されない場合、幹事長が議事を進行すると追記する。
- ③規則を改正し、幹事長を議長とする

投票

今回の総会は②を採用し、今後の対応に関してはグーグルフォームで投票をとる。

今回は幹事長が議長となることが決定した。

2.来年度の幹事について(遠藤)

概要

来年度幹事の人事に関する詳細は資料を参照のこと。

幹事長 石川 翔太(東京4)
副幹事長 森 創之介(横国4)
会計 町田 千優(お茶女3)
会計監査 岩崎 壮馬(大阪4)
森尾 尚生(名古屋2)
事業部長 加藤 賢斗(筑波3)
部員 高橋 悠(横市3)
広報部長 西澤 汰知(東北4)
部員 石井 雅人(東北3)
部員 早川 正真(立命4)
普及部長 湊 菜々子(茨城3)
部員 小河 凜太郎(大阪公立2)
部員 齊藤 滉太(早稲田2)
渉外部長 佐藤 若葉(東北2)
部員 林 希華(日本女子2)
事務局長 石原 尋季(京都工芸繊維3)
部員 久島 典子(京都2)
部員 川瀬 智尋(奈良女4)
技術委員 屋敷 龍吾(京都4)
飯野 正太郎(東科4)
北東学連 山崎 僚太(岩手3)
関東学連 美濃部 遼(筑波3)
北信越学連 祝部 大旗(金沢3)
東海学連 大野 尊琉(名古屋3)
関西学連 柿本 源心(京都3)
中九四学連 井上 風大(広島3)

投票

グーグルフォームによる投票の結果、来年度幹事は承認された。

3.来年度の副会長について(遠藤)

概要

来年度副会長として島津弘を任命したい。

投票

グーグルフォームによる投票の結果、来年度副会長は承認された。

4.インカレ実施規則の改正について(毛利)

概要

インカレ実施規則の改正について、パブリックコメントを募集していた。特に意見は出なかったもので、技術委員会としては現在の案で問題ないものと判断している。

各大学で承認するかどうかを決めてほしい。

従来のインカレは、独自のインカレ実施規則に基づいて開催していたが、これを今後JOAの競技規則に則ったものに改正する。

投票

グーグルフォームによる投票の結果、インカレ実施規則の改正は承認された。

5.2025年度秋インカレ競技者数配分のランキング対象大会について(毛利)

概要

今年度から日本ランキングにて枠配分を行う。ランキング対象大会は(地区によっては)セレ後の8月までであるため注意してほしい。また、ランキングの対象クラスはAクラスである。

6.インカレ競技者数配分規則の一部改正について(毛利)

概要

前年度選手権大会入賞者が日本ランキングにおいて、ランキング内定枠に入っている場合は重複しないので問題ない。一方で内定枠以外の出場枠に入賞者がいる場合、自分の入賞者による枠と学連に出場枠を提供できる。そのため、ある学連にとって出場枠を二重にとれてしまう。入賞者にとって、ランキングをあえて上げないほうが、学連にとって有利に働く。

2025年度適用の一時的な対処案

前年度入賞者はランキングから削除し、入賞者以外で出場枠を争う

メリット:2重に枠を獲得することを防げる、前年度入賞者を維持できる

デメリット:運用面で問題がある。誰が出場枠対象者であるのか見た目ではわかりにくい。

2026年度以降の対処案(採決は来年度の総会で行う)

①前年度入賞者の翌年の出場枠獲得の廃止

メリット:2重に枠を獲得することを防げる、事務的な負担が少ない、ランキングのみでインカレ出場者を決めることができる、技術委員会の負担が少ない

デメリット:選手権クラスにふさわしい選手を救えない。

②ランキングの出場枠に入賞者が入っていた場合、前年度入賞者による出場枠とランキングによる出場枠の重複を認めない、前年度入賞者が配分圏外にある時のみ配分する枠数を減少させる

メリット:2重に枠を獲得することを防げる、出場枠数の固定

デメリット:入賞者が配分圏外になることは考えにくく、ルールが形骸化する

③2025年度適用の一時的な対処案

※来年度総会にて、①から③のどの対処案をとるか投票

投票

グーグルフォームによる投票の結果、2025年度適用の一時的な対処案を適用する案が可決された。

7.連盟規約の一部改正、廃止について(遠藤)

概要

詳細は資料を参照のこと

坂野:日本学連新機軸事業に関しては、日学内の資金にまだ余裕があり、栃木県の日光・矢板地区の地元渉外の状況も良好である。そのため、事業の継続も可能と考える。

今、大会を開催したいけどテレインがないという学生がいるのであれば、廃止すべきではないのでは。

投票

グーグルフォームによる投票の結果、連盟規約の一部改正、種々の規則の廃止は承認された。

8.来年度の事業者との契約について

概要

今までは大まかに契約金が山川さんとの間に設定されていたが、来年度は3項目に分けて契約金を設定。

投票

グーグルフォームによる投票の結果、来年度の事業者との契約は承認された。

9.会計決算・予算について

概要

・2023年度決算

2023年度決算は地図収入により黒字となっている。

・2024年度中間決算

インカレ貸付金の請求がなかったため、300万の支出がなく、また、地図作成費やOラーニングにかかる費用が少なかったため大幅な黒字が予想される。

・2025年度予算

来年度はインカレ貸付金による支出を見込んでいるため、赤字予算となっている。
山川ハウスに関する予算はまだ規約がはっきりしていないため来年度予算から組み込まれる予定。

投票

2025年度予算についてはグーグルフォームで投票をとる。
グーグルフォームによる投票の結果、2025年度予算は承認された。

10.大会・練習会などの申請について

概要

練習会・合宿開催時には必ず日本学連にグーグルフォームで申請書と報告書を提出する。地区学連には日学から共有し、都道府県には必要に応じて別途提出する。締切は各地区の締切に従う。

報告書では、涉外問題、救急搬送、有害動物の出没などの有無について聞く予定である。もし、練習会内で大きな事故が起きた時の賠償に関して、日本学連として救済を差し伸べるができる。

坂野:すでにある、学連版權テレイン利用申請書との区別はどうなるのか、重複するところもあるのではないか。

11.大会・練習会を開催する際の涉外手順について

概要

詳細は資料を参照のこと

12.グーグルフォームによるテレイン利用申請について

概要

今後はpdfではなく、グーグルフォームのみでの申請に一本化するようにする。(報告書も同様)
また、テレイン利用申請は、テレイン利用の細かい調整のため、開催の1か月半前ぐらいに出してほしい。